

“鮮度一番！”

No.176

～女性と男性が支え合う社会をつくる～

CONTENTS

- 1 / ひとことコラム
- 1～3 / 運営委員会で話し合われたこと
- 4 / 「ちょこっと能楽話」第10回
- 5～6 / 参加報告
- 6 / 編集後記

・・・ひとことコラム・・・

小出和子

先日、JR横浜線の踏切内に入っているお年寄りを助けようとして、自らの命を落としてしまった女性のことを、報道で大きく取り上げており、すばらしい行為だったと、誰もが賞賛しておりました。国からも、尊い命を救ってくれたということで、勲章が贈られたり、書状が届けられたりしました。

しかし、あの時の彼女の判断は、本当に正しかったのだろうか？

踏み切り待ちをしていた人たちが、誰も助けに行かなかったのは、「もう間に合わないだろう」「もう無理だろう」と判断したからではないのでしょうか？

「あの人を助けたい！」という純粋な気持ちで、行動を起こした女性の行為は、とても美しいことだとは思いますが、父親の「もうムリだよ！」の忠告も聞かず、車から飛び出し、しかも目の前で命を落としてしまった彼女は、私には親不孝としか思えません。これほど優しい気持ちを持った女性ならば、生きてさえいれば、もっともっと多くの人の役に立てたのに・・・と思うと残念でなりません。世間では、亡くなった女性のことを英雄のように称えています、親だったら「勲章も賞状も何もいらぬから生きていて欲しかった」と考えるのではないのでしょうか？

他人事とは思えず、報道を聞きながら、涙してしまいましたが、テレビの画面上では、気丈に振舞っていたけれど、娘を亡くされたご両親の悲しみは、どれ程だろうか？助けられたお年寄りは、どんな気持ちで、これから生きていくのだろうか？など、様々なことを考えさせられる出来事でした。皆さんはどのように思われましたか？

運営委員会で話し合われたこと

日 時 平成25年11月6日(水) (AM9:30～11:30)

場 所 男女共同参画センター

手がかじかむ季節になってきました。寒くて背中もまるまってしまうそうですが、背伸びをしたり軽い体操をして体調を整えましょう！

次回の運営委員会は、12月4日(水)9:30～男女共同参画センターです。どなたでもおいで下さい。

1. 11月22日(金)“ワイワイ女性ひろば”打ち上げ&忘年会について

三条ロイヤルホテルで開催する忘年会への申込状況について確認しました。今回は、開業助産師西方久子さんの講話「今時の性教育」もあり、楽しい中にも役に立つ(?)こと請け合いです。まだ申込をされていない方、他の用事とダブっている方、どうぞこちらを選んでご出席くださいますようお願いいたします (^O^)/

2. 映画「じんじん」実行委員会発会(10/30)について

当初9団体でしたが、市からの呼びかけで17団体が参加して映画「じんじん」上映実行委員会が発足しました。会長は、三条市社会福祉協議会の崎山さんで、事務局は、三条市役所内に置く事となりました。

市が事務局を受け持つと言う事で、事前の準備等進めてくださったので、当会は、上映まで担当の西方さんの報告を受けて動きたいと思います。

3. (公)新潟県女性財団設立20周年記念講演会及びパーティーについて

11月29日(金)に行われる上記の案内が、当会や財団運営に関わった者へ届きました。財団設立から20年が経ったことへ深い感慨がありますね。

講演会の講師は、広岡守穂さん(中央大学法学部教授)、立美さん(元石川県議会議員)、テーマは、「夫婦で語ろう男女共同参画」、会費は無料です。

記念パーティーの会費は、4,000円で、会場はともにホテルイタリヤ軒です。

申込は、11月20日(水)までですので、出席できる方は野崎まで連絡をお願いします。”

4. アルザフォーラム2013について

上記フォーラムが、11月16日から24日まで新潟市で開かれます。

基調講演は、「共にはぐくみあえる社会へ～メディアから見える人と人とのつながり～」をテーマに杉尾秀哉さん(TBSテレビ報道局 解説・専門記者室長)で、17日(日)にあります。他にも分科会やワークショップがありますので、詳しくはインターネットで「アルザフォーラム」と検索してください。

5. 審議会等について

第2回三条市介護保険運営協議会報告

安室久恵

10月7日、第2回三条市介護保険運営協議会が市役所第二庁舎で開かれた。議題は第5期介護保険事業計画・平成平成24年度実施状況の総括で、24年度の事業の実施状況、事業費について質疑応答があり、全体について承認された。報告事項としては、以下のとおり。

- ①第5期介護保険事業計画における介護サービスの基盤整備について
- ②計画運営部会、地域包括支援センター運営部会、地域密着型サービス運営部会の概要について

6.

第3回日本認知症予防学術集会終了のご報告と御礼について

9月27日～29日に開催された上記会の御礼が届きました。
参加者 573名と盛会裡に滞りなく終了されたそうですが、当会の運営委員丸山さんは、ご商売のお酒で楽しい協力をされたようです。
これから私たちの進む道が、明るくなりますように！

7.

その他

2つの学習会のお知らせがあり、3ページに合わせて掲載しました。

長岡市男女平等推進センター ウイルながおか第27回ウイルながおかフォーラム
「メディアリテラシーとは？」

- ◆日時 11月23日(土)10:00～12:00
- ◆会場 まちなかキャンパス長岡 5F 501号室
- ◆講師 新潟県立大学国際地域学部国際地域学科 教授 石川伊織さん
- ◆会費無料・事前申込不要
- ◆連絡先 北京JAC新潟 中越地区 TEL090-2974-0437 椛澤

～いのちの落語 講演会～

自殺予防キャンペーン

「たった一人のあなたです。たった一つの命です。」
「命」社会の中で育もう。人の命の大切さ。

- ◆日時 12月1日(日)13:30～15:30(受付12:30)
- ◆会場 三条中央公民館大ホール
- ◆定員 先着500名
- ◆入場無料・整理券不要
- ◆主催 三条東ロータリークラブ(TEL0256-47-7027)



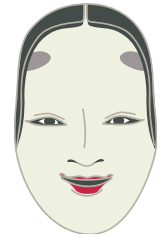
女性と憲法

～ジェンダー視点から憲法改定を考える～

- ◆日時 12月15日(日)13:30～15:30
- ◆会場 新潟県女性センター女性団体交流室Ⅱ
- ◆講師 古田典子さん(弁護士)
- ◆参加 無料
- ◆連絡先 TEL025-245-3063 小林佳子

ちよこつと能楽話 第10回

「敦盛」「生田敦盛」 川瀬弓子



能には「平家物語」を題材にした曲が沢山あります。今回は平家の公達「敦盛」についてご紹介します。文部省唱歌「青葉の笛」をご存じですか？一番は笛の名手無冠の大夫敦盛です。ちなみに二番は和歌に秀でた薩摩の守忠度（ただのり）です。

物語は定石どおり旅僧登場、熊谷次郎直実（くまがいじろうなおぎね）です。直実は一ノ谷の合戦で我が子と同年若干16歳の敦盛を手にかけてたがその後世をはかなみ出家し蓮生法師（れんしょうほうし）となり敦盛の跡を吊っています。そこへ敦盛の霊が顕われ物語ります。

平家の栄華は二十年、寿永の秋にはちりぢりになってしまった、やっとの思いで須磨までたどり着いた、翌年の春二月六日父経盛は我らを集め今様を唄い舞いを舞った、その時源氏の陣営まで聞こえた敦盛最後の笛の音、その後平家の一門は船に乗り込み西海に逃げようとしたが敦盛は逃げ遅れ直実の手にかかってしまったのだ、しかし今は蓮生法師として敦盛の霊を吊っている、「終には（ついには）共に生まるべき同じ蓮（はちす）の蓮生法師。敵（かたき）にてはなかりけり跡吊いてたび給へ跡吊いてたび給へ」

敦盛にはもう1曲「生田敦盛」という作品があります。16歳で命を落としているのが実は息子がいました。加茂明神に捨てられてこの子は黒谷の法然上人に拾われ十いくつとなった。せめて夢にでも父に会いたいと加茂明神に七日間祈願していたが満願の日に霊夢をいただき津の国生田の森へ下れとのこと。そこには草庵があり敦盛の幽霊登場。孝行の心に加茂明神が哀れみをかけ閻魔王に親子の対面を仰せつけられた。「嬉しやな。夢の契りの仮初めながら。親子鸚鵡の袖ふれて。名残つきせぬ。心かな」しかし喜びもつかの間閻魔王が顕われ「亡き跡を吊いてたび給へと。泣く泣く袂を引き分かれ」ていくのです。

私事で恐縮ですがさる10月19日水道橋宝生能楽堂にて三男隆士が初めてシテ役をつとめさせていただきました。

敦盛は笛の名手、経政は琵琶の名手、忠度は文武両道で和歌の名人、平家の公達は優雅でした。平家物語と合わせて読むと一層おもしろいと思います。

一方源氏では義経が一番人気ですが「義経」という曲は見当たりません。登場する曲は「安宅」「船弁慶」「橋弁慶」「鞍馬天狗」「八島」など。私がお習いした範囲ですから定かではありませんが。シテとして登場するのは「八島」だけ。静御前もよく登場します。

昔はテレビも雑誌もなかったのが能楽が情報源だったのかもしれませんが。

さて「歌占」の宿題「飛び上がり平臥（トビアガリヘイガ）」について説明します。

度肝をぬく舞いの形です。飛び上がって後アグラで下に居る、という形です。能舞台での所作ではありますが私は以前テレビで観たことがあります。NHK大河ドラマ「花の乱」の時、野村萬齋演ずる細川勝元が石庭のような所で舞い最後飛び上がり平臥で納めたのです。テレビという限られた空間でしたが決まっていました。

本日はここまでとします。

【参加報告】

出前講座 講師 立松有美さん

「男と女のクロスロードゲーム あなたはどっち」に参加して

米田 美智子

いきなり、講座はゲームで始まった。そしてゲームで終わった。なんともユニーク、この年齢での初体験だった。

以下の3つの事例に、渡された2枚のカード「YES」「NO」を1分以内に伏せて出し合う。グループごとに、「YES」「NO」のカード数を比較しあうという仕組み。それだけ……。判断の是非、理由説明などは一切なし。

3事例を紹介します

- ① 10分後の津波警報が出た。離れた隣のおばあちゃんに、声をかけるべきか否か。
- ② 避難所へ愛犬をつれていくべきか、置いていくべきか。
- ③ ボランティアしながら、いちゃいちゃしているあのカップル。注意すべきか否か。

テーブルの上に出されたカードは、一人ひとりの個人的判断の集合図を見るという感じだった。普段はあまり意識してなかったが、私たち一人ひとりの判断はこうもバラバラなのかと、あらためて認識させられた。

しかし、3事例とも他人や社会に全く無関心ならば悩まなくてすむ事例だ。

先日、新潟からの高速バス内でのこと、反対側の高校生カップルにいちゃつきぶりには腹が立った。しかも、もっぱらリードするのは大柄な彼女の方なのだ。見事な太ももを開いて座り、細身の彼氏の肩に腕を回したり、耳にさわったり、もちろん、しゃべりっぱなしで。

私は、途中から彼女の方に目をやりっぱなしにした。少しは控えてもらえるかなと思って。私の意図は届かなかったとうより、無視された。降りる時、彼女は私をにらんでいった。でも、私なりに一市民として、公共の場での「NO」をつきつけたつもりでいる。

みなさん、私の行動をどう思われますか、ネタにしてください。

第21回三条市民世界友好の翼

ベトナム リゾート&世界遺産めぐり7日間の旅に参加して

丸山静江

風光明媚の地・歴史的建物・水上人形劇場にはもちろん感動・感銘を受けました。でもそれよりも町並み、人々の普段の姿に興味を惹かれました。

町並みは間口が狭く奥行き長い家が多々ありました。共産主義の国でも、住宅地だけは個人の物だそうです。道路に面した地は税金が高いので、うなぎの寝床のような家の集合状態です。隣家と壁が共同のような建物。隙間が在っても人がすれ違うことも出来ないほどに狭く、奥に入口が見えました。火事でもあったら、一瞬のうちに大火になりそうなほどに、密集していました。空き家？と思われるような、壊れかけたような家にも洗濯物が干してあるので住んでいると認識。

フランス統治時代も長かったので洋風なモダンな建物も多々ありましたが、目は薄暗い家にくぎ付けになりました。

街中の交差点はロータリー。中央に設けた円形地帯に沿って車が回り、方向を変えていました。信号は少なく、バイクが多く道幅いっぱいには走っていました。道を横断する時は、ゆっくり歩いて下さい。バイクが避けてくれますと添乗員に言われました。ゆっくりゆっくりと言いながら渡るの、肝試しみたいでした。パパの膝の間に子供を挟み、首も座らないような乳児を抱いたママのバイク4人乗りも見ました。ベトナムのバイクの運転席は長く後輪の後ろまであります。後ろに乗っていた小学生が、両手でおもちゃ遊び。親につかまらなくても怖くないのは、乳児の時から乗るから平衡感覚があるのかと妙に感心しました。一時停車もしないで踏切に入ったバス。えっと驚いたら、電車は一日に一回しか通らないからと言われました。

首都ハノイでのバスの車窓からは田畑が多く見られました。平ではなく、大きな窪みがいくつかありました。ベトナム戦争時のアメリカ軍の爆弾が落とされた痕だそうです。40年近く前に終戦を迎えたのに、田畑に痕跡をとどめていました。農作業は機械化されていないので、牛が何頭も田畑にいました。整地する必要性が無いのでしょうか？

刺繍の土産物店に入る前に「作業の人たちは、小さいけれど大人です。障害者もいます。驚かないでください。今でも枯葉剤の影響を受けています。」と言われました。40年以上も前の事なのに、戦争の非情さに心が痛みます。化学兵器が使われたシラクに、悲劇が起こらないことを願います。

会食での飲料は氷水の入った大きなバケツで冷やしてありました。生ビールのサーバーを見た人が、3ドルを払って頼みました。グラスにさわって直ぐに手を離し、飲もうとしません。何故？グラスをみんなにまわして納得。常温でした。冷やして飲む習慣が無いのです。

日本から進出した企業の大卒の初任給は3万円、高卒は2万円。手先が器用で真面目な国民性のベトナムに進出する先進国の気持ちが分かります。

ダナンでハノイに向けて、21時の国内線に乗りました。ダイヤモンドを散りばめたような夜景に、感嘆の声があちこちから。バイクのライトの明かりです。

トイレトペーパーは流さないでゴミ箱に入れるように、水道水は飲まないように。ベトナム語が読めず。飛行機が成田に着地してホッとしました。日本がやっぱり落ち着きます。

編集後記：

4才の孫が幼稚園に通いはじめ、病気のやり取りが盛んになってきました。風邪をもらって、また人にあげて…、でも病気だけではなくいろんなことも教わってきます。先日、寒い寒いという私に、「おばあちゃん、身体を動かすといいんだよ、体操するとあったかくなるんだって、省エだってさ！」といっちょまえのお言葉を頂戴しました。ちょっと体を動かして、だぶついてきた贅肉と暖房費のW省エネ実行中です。

今号もどうぞ隅から隅までお読みください。(原)



編集発行：三条女性会議・代表 野崎ミチコ

連絡先：三条市田島2丁目12-12 Tel 32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>